

2026年度

事業計画書

公益財団法人 日産厚生会

当会の2026年度の事業活動計画は以下のとおりである。

1. 医学研究の推進

医学研究所の統括の下、各施設がそれぞれの施設特性に応じた臨床医学研究や予防医学研究の活動を実践し、その成果を学会発表や学術論文として外部に発信すると共に、医学フォーラムや院内研修会等を通じて、知識・技術の普遍化を促し、厚生会全体の医療水準の向上を図る。

(1) 医学研究所

各施設の研究計画、研究活動を統括すると共に、関係諸学会への参画を継続的に支援する。第13回医学フォーラムを開催し、各施設・各部門の日々の研究成果の発表機会を提供すると共に、全体の研究マインド向上を図る。また、玉川病院をはじめ他施設との共同研究や共同発表等への取り組みを拡充し、当会全体の研究活動が一層活性化するよう支援する。

なお、2025年に文部科学省科学研究費施設として認定されたが、2026年度はこれを活用し、更なる研究の拡充を図る。

(2) 玉川病院

各研究部門（腎疾患総合、気胸・嚢胞性肺疾患、ヘルニア疾患、関節疾患、脳機能再建、前立腺疾患）をはじめ、診療部、看護部及び医療技術部それぞれにおいて研究活動を推進すると共に、研究成果を発表し普及を図る。

(3) 佐倉厚生園病院・玉川クリニック・診療所他

医学研究所との連携を密にして、各々の施設特性に応じた研究活動を推進する。

- ・回復期・慢性期病棟、介護施設の各部におけるデータ集積と分析による医学研究
- ・リハビリテーションにより得られる各種効果に関する研究
- ・健診データ等の集積と分析による予防医学研究

各施設における具体的な研究・調査の内容については4頁以降(別表)のとおり。

2. 社会への貢献

(1) 医療活動の質の向上

それぞれの施設状況に応じ、救急医療体制の充実化、総合診療体制の整備、大学病院等高度先進医療機関との連携強化、チーム医療の実践強化等の取組みを進展させ、提供する医療の質の向上に努める。

(2) 保健予防活動、健康普及啓発活動の推進

各施設において、人間ドック、生活習慣病健診、乳がん検診その他各種検診での検査項目を充実させつつ検査精度を高め、疾病予防の強化や早期発見に努めると共に、各検診の受診率向上を図る。

玉川病院や佐倉厚生園病院で、各種教室（糖尿病教室、腎臓病教室、心臓病教室、呼吸リハビリテーション教室等）、病院祭、看護の日といった一般市民向け院内公開行事等やAED講習会、熱中症講習会、市民公開講座等の院外における啓発活動等を実施する。

また、診療所やクリニックにおいては、産業医、産業保健師としての講演活動等において、生活習慣病予防等をはじめとする、様々な健康普及啓発活動を展開する他、かかりつけ医として親身な医療を実施する。さらに、玉川病院では、医療情報ネットワークへ参加し、日頃から情報の受発信に努めると共に、世田谷区・地域保健所・医師会等からの情報提供要請に対しては、医師、看護師、薬剤師及びその他医療職種を、講演会・講習会に講師として派遣し協力する。

(3) 災害医療の充実

玉川病院は、東京都から指定された災害拠点病院であり、世田谷区の拠点病院としての役割を果たすため、定期的に災害訓練を行うと共にDMAT（災害派遣医療チーム）を整備する。

3. 教育・人材育成の推進

(1) 初期臨床研修医・専門医制度の専攻医及び特定看護師の育成、医学部実習生の受入れ

(玉川病院)

- ・基幹型臨床研修病院及び協力型臨床研修病院として、初期臨床研修医の育成を行う。
- ・新専門医制度における内科領域の基幹及び連携病院として専攻医の育成を行う。さらに、他科領域では連携病院として関連病院からの要請により、専攻医を受入れ育成を行う。
- ・関連大学からの要請により、医学部実習生を受入れ実習指導を行う。
- ・特定行為に係る看護師研修制度における指定研修機関として、特定看護師の育成を行う。

(佐倉厚生園病院)

- ・協力型臨床研修施設として、初期臨床研修医の育成を行う。

(診療所・玉川クリニック)

- ・初期臨床研修医に対して地域医療研修の実習指導を行う。

(2) その他医療・介護関連の実習指導

玉川病院、佐倉厚生園病院、佐倉ホワイエにおいては、看護、薬剤、リハビリ、臨床検査、栄養、介護福祉、医療事務等の学生に対し、実習指導を行うと共に、要請に応じて講師の派遣を行う。

4. 医療活動の推進及び設備の充実

(1) 当年度の想定患者数、健診者数は、3頁（参考）のとおり見込んでいる。

(2) 機器・設備の整備等

(玉川病院)

- ①生体情報モニター装置を更新し、療養環境の向上を図る。
- ②透析システムを更新し、診療精度及び効率の向上を図る。
- ③血管撮影装置を更新し、診療精度及び効率の向上を図る。
- ④自動錠剤分包機を更新し、作業効率及び患者サービスの向上を図る。
- ⑤医用画像保管装置を更新し、診療精度の向上を図る。
- ⑥会計システムを更新し、業務効率の向上を図る。

(診療所)

- ①画像管理システムを更新し、診療精度及びデータ管理業務効率の向上を図る。

(佐倉ホワイエ)

- ①館内空調機を更新し、療養環境の向上を図る。

5. 公益法人制度改革への対応

2025年に施行された改正認定法に基づき、定款改定、法定監査人の選定及び社外監事の役員会陪席を実施したが、本年度も自主的・自律的ガバナンスの構築を継続し、事業活動の透明性を確保する。

(参考)

想定患者数、健診者数等

(1) 入院患者数 (単位:人)

種 別	玉 川 病 院			
	2026年度予算		2025年度見込	一日平均 の増減
	延人員	一日平均	一日平均	
一 般	97,241	266.4	260.7	5.7
回復期リハ	13,578	37.2	36.5	0.7
計 A	110,819	303.6	297.2	6.4
2025年度見込 B	108,478			
2025年度予算 C	109,576			
2025年度達成率 B/C	99%			
対前年度見込 A/B	102%			

(単位:人)

種 別	佐 倉 厚 生 園 病 院			
	2026年度予算		2025年度見込	一日平均 の増減
	延人員	一日平均	一日平均	
療 養	48,545	133.0	123.1	9.9
回復期リハ	15,695	43.0	42.1	0.9
計 A	64,240	176.0	165.2	10.8
2025年度見込 B	60,308			
2025年度予算 C	63,960			
2025年度達成率 B/C	94%			
対前年度見込 A/B	107%			

(2) 外来患者数 (単位:人)

科 別	玉川病院		佐倉厚生園病院		診療所		玉川クリニック	
	延人員	一日平均	延人員	一日平均	延人員	一日平均	延人員	一日平均
2026年度予算 A	161,361	552.6	19,184	65.7	11,382	47.2	27,371	93.4
2025年度見込 B	162,308	555.8	18,263	62.3	11,262	46.3	27,203	93.2
2025年度予算 C	171,288	586.6	21,055	71.9	12,710	52.3	28,080	96.2
2025年度達成率 B/C	95%		87%		89%		97%	
対前年度見込 A/B	99%		105%		101%		101%	

(3) 健診者数 (単位:人)

種 別	玉川病院	佐倉厚生園病院	診療所	玉川クリニック	合 計
	延人員	延人員	延人員	延人員	延人員
各種健診	7,830	8,034	16,196	5,878	37,938
人間ドック	600	2,641	1,304	836	5,381
2026年度予算 A	8,430	10,675	17,500	6,714	43,319
2025年度見込 B	7,631	10,811	17,500	6,638	42,580
2025年度予算 C	8,940	11,246	17,433	6,388	44,007
2025年度達成率 B/C	85%	96%	100%	104%	97%
対前年度見込 A/B	110%	99%	100%	101%	102%

(4) 佐倉ホワイトエ利用者数 (単位:人)

区 分	入所延人員	1日平均	通所延人員	1日平均
2026年度予算 A	27,740	76.0	10,318	33.5
2025年度見込 B	26,572	72.8	10,038	32.7
2025年度予算 C	28,105	77.0	10,131	33.0
2025年度達成率 B/C	95%		99%	
対前年度見込 A/B	104%		103%	

(別表) 研究・調査

I. 玉川病院

1. 研究センター

(1) 透析センター・腎臓内科

- ①慢性維持透析患者における8つの臨床症候を用いたドライウェイトスコアリングシステムの予測性能に関する多施設臨床研究
- ②CKD療養指導の有用性の評価：多施設共同研究
- ③病診連携における玉川CKD対策ネットワークの効果
- ④腹膜透析業務における臨床工学技士の業務拡充と育成への取り組み
- ⑤血管エコーを用いた血液透析患者のバスキュラーアクセス管理の有用性
- ⑥外来維持血液透析患者に対する透析中の運動療法の臨床効果
- ⑦当院の腎代替療法選択支援
- ⑧透析センターにおける災害時透析医療の取り組み
- ⑨透析患者に対するカルニチンの有用性について
- ⑩透析患者のカリウム管理について

(2) 気胸研究センター

- ①リンパ脈管筋腫症の組織培養法の検討
- ②シロリムス投与による気胸発症の予防効果
- ③呼吸機能低下症例のリスク因子の解析
- ④難治性血痰に対する治療方法の確立
- ⑤BHD症候群における腎病変および関病変のMRI画像診断の検討
- ⑥胸腔子宮内膜症における病期分類の有用性
- ⑦胸腔子宮内膜症の発症メカニズムの解明と新しいバイオマーカーの検討
- ⑧胸腔子宮内膜症の術後再発に対するTPC治療の検討
- ⑨胸腔子宮内膜症における横隔膜切除術後の呼吸機能
- ⑩胸腔子宮内膜症における肺嚢胞の病理所見と意義
- ⑪胸腔子宮内膜症におけるホルモンレセプターの意義
- ⑫胸腔子宮内膜症病変と骨盤子宮内膜症病変の比較
- ⑬難治性遅延性気漏の治療法としてTGF治療の有用性
- ⑭マルファン症候群における気胸の臨床的特徴
- ⑮原発性自然気胸における手術前後の呼吸機能の推移
- ⑯自然気胸における肺嚢胞の新分類
- ⑰自然気胸術後に気漏が遷延した症例の予後調査
- ⑱原発性自然気胸に対する高濃度ブドウ糖溶液によるコーティング法の有用性
- ⑲原発性自然気胸と側弯症の関係
- ⑳酸化再生セルロース（インターシード）の臓側胸膜への効果に関する基礎的研究
- ㉑BHD症候群の手術におけるreduced port surgeryの妥当性
- ㉒胸腔子宮内膜症関連気胸における最適な横隔膜病変の処置方法
- ㉓難治性気胸における局所麻酔下胸腔鏡手術の有用性

(3) ヘルニアセンター

- ①ロボット修復術（RTAPP, RTEP等）の導入と展開
- ②鼠径部ヘルニアの術前診断 画像診断の意義と臨床実績の対比・研究
- ③AYA世代を主とする女性ヘルニアに対する組織修復法とLPEC法の研究
- ④女性Nuck管水腫と子宮内膜症の関連に関する臨床的研究および治療法に関する研究
- ⑤食道裂孔ヘルニアの鏡視下手術法の展開と中・長期成績について

- ⑥De Novo 型、Sliding 型ヘルニアの病態と治療戦略の研究
- ⑦前立腺癌、膀胱癌術後症例に対する安全・確実な治療戦略の研究
- ⑧腹壁癒痕ヘルニアの腹腔鏡下およびロボット治療の展開
- ⑨嵌頓ヘルニアの鏡視下手術による治療法の確立
- ⑩大腿ヘルニア（嵌頓例・非嵌頓例）に対する腹腔鏡下個別的治療法（Laparoscopic Simple Femoral Herniorraphy: LSFH 法）の研究と展開
- ⑪大腿ヘルニア（嵌頓例・非嵌頓例）に対する腹腔鏡下個別的治療法（Laparoscopic Simple Femoral Herniorraphy: LSFH 法）の閉鎖孔ヘルニアへの応用
- ⑫精索脂肪腫、腹膜前脂肪腫と鼠径ヘルニアに関する研究
- ⑬閉鎖孔ヘルニアのガイドライン作成への参加、研究
- ⑭非メッシュ適応例の選択と術式の研究

(4) 股関節センター

- ①変形性股関節症に対する新しい人工関節治療（術前計画）法の研究
- ②Corail 型 ステムの臨床比較
- ③日本人の正常骨盤・股関節の形態計測
- ④変形性股関節症の発症メカニズムの解明への研究
- ⑤ステム形状の相違に伴う術後初期荷重の相違についての検討
- ⑥MAKO robotic surgery THA の手術精度における検討
- ⑦THA における forgotten joint をもたらす因子の検討
- ⑧晩期 Periprosthetic joint infection (PJI) に対する治療法の検討
- ⑨各種 Full coat stem の成績比較
- ⑩当院整形外科における周術期 SSI (手術部位感染) 予防対策の再検討
- ⑪CT 画像を用いた人工股関節インプラントの初期微小移動に関する研究
- ⑫stress shielding 発生に関与する遺伝子の検討
- ⑬THA 術前後における歩容の変化に関する因子の検討
- ⑭SROM stem 術後の大腿骨内での移動に関する検討
- ⑮股関節の肢位による各特徴点の移動に関する検討
- ⑯THA におけるサージセルパウダーの効果
- ⑰ロボティック THA の患者満足度

(5) リハビリテーションセンター

- ①上肢リハビリ装置 Cocoroe AR2 ロボットを用いた脳卒中での上肢リハビリへの応用とその改善に関する検討
- ②MELTIN MMI 社手指用ロボットニューロリハビリテーション装置を用いたリハビリ効果に関する検討
- ③腕振りアシストロボットによる歩行の改善に関する検討

(6) 前立腺センター・泌尿器科

- ①ヒューマノイドハンドを用いた新しい泌尿器科ロボット手術 Dual Robotic Surgery の実現
- ②新規導入予定の Green Light XPS と導入後 8 年を経過した HPS の成績との比較検討
- ③光選択的前立腺蒸散術の臨床成績の集積および 2017 年から新規導入した術式（Vaporization and resection 法）の検討
- ④光選択的前立腺蒸散術における射精温存術式の検討
- ⑤去勢抵抗性前立腺癌に対する新規治療薬を組み入れた治療戦略
- ⑥PSA 高値症例に対する不必要な前立腺生検を回避するための MRI 検査の評価
- ⑦腎細胞癌の集学的治療（手術、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬）の検討
- ⑧ロボット支援前立腺全摘除術における機能温存のための術式の工夫

- ⑨ロボット支援前立腺全摘除術における制癌効果の検討
- ⑩ロボット支援前立腺全摘除術におけるポートサイトヘルニア予防の取り組み
- ⑪小径腎腫瘍に対するロボット腎部分切除の治療成績の検討

(7) 血管外科・静脈瘤センター

- ①下肢静脈瘤に対する低侵襲手術治療
- ②下肢静脈瘤に対するグルー治療の適応拡大
- ③透析シャント狭窄に対する DCB (Drug-Coated Balloon) の治療成績
- ④透析シャント閉塞に対する観血的手術治療 (血栓除去) とカテーテル治療 (血栓吸引) の成績比較
- ⑤整形外科手術後の Expanding Hematoma 症例の治療成績

2. 各診療科

(1) 循環器内科

- ①ハートノートを利用した多職種チームによる心不全患者管理による予後改善についての検討
- ②レーザー血流計ポケット LDF による下肢動脈形成術前後の治療評価
- ③高齢心不全患者の微小循環障害有病率の検討
- ④心不全患者教育入院の予後改善効果についての検討
- ⑤心不全療養指導士介入による心不全患者予後改善についての検討

(2) 呼吸器内科

- ①慢性咳嗽患者における呼気一酸化窒素測定の有用性に関する研究
- ②超音波気管支鏡検査 (EBUS+TBNA, EBUS+GS) の臨床成績に関する研究
- ③免疫チェックポイント阻害剤副作用に関する研究

(3) 消化器内科

- ①当院における胃 ESD 症例の検討
- ②胃瘻造設患者の転帰について
- ③当院における区の胃がん検診と健康診断で行った上部消化管内視鏡検査の結果についての比較・検討
- ④当院におけるカプセル内視鏡検査施行症例の検討

(4) 膠原病リウマチ科

- ①当院通院中関節リウマチ患者の実態調査
- ②当院通院中膠原病疾患患者の実態調査
- ③遺伝子発現解析に基づく自己免疫疾患の病態解明 (東京科学大学膠原病・リウマチ内科との共同研究への参加)
- ④関節リウマチ滑膜細胞及び血清の細胞周期調節因子、細胞活性化因子、細胞遊走因子、細胞成長因子の解析 (東京科学大学膠原病・リウマチ内科との共同研究への参加)

(5) 内分泌・糖尿病内科

- ウゴビー投与による体重や体組成の変化の検討

(6) 脳神経内科

- ①Cefepime-induced encephalopathy と血中 cefepime 濃度についての検討
- ②軽度認知障害のアルツハイマー型認知症に対しての抗アミロイドβ抗体薬治療についての検討
- ③Bilateral claw hands as finger drop variant of Guillain-Barré syndrome
- ④Legionella encephalopathy with limbic encephalitis

(7) 消化器・一般外科

- ①胆嚢動脈を指標とした急性胆嚢炎に対する安全な腹腔鏡手術手技
- ②腹壁癒痕ヘルニアに対する e-TEP RS±TAR の手術難易度を下げるポート配置および手技の工夫
- ③巨大混合型食道裂孔ヘルニア手術において修復を確実とするヘルニア嚢切離線
- ④下部消化管穿孔における永久人工肛門回避の工夫
- ⑤若年者 S 状結腸軸捻転症に対する辺縁動脈温存腹腔鏡下 S 状結腸切除術

(8) 乳腺外科

- ①ICG 蛍光法によるセンチネルリンパ節生検手技の工夫とその検証。
- ②Stathmin1, Survivin 遺伝子の乳癌における予後、治療効果予測因子としての意義；国際医療福祉大学病理部と共同研究。
- ③乳腺 Neuroendocrine carcinoma の特徴

(9) 形成外科

- ①乳房切除・乳房再建手術に直接連関する新しい治療概念「乳房オンコプラスチックサーージャリー」の推進する研究
- ②形成外科・乳腺外科による乳房の手術治療と他の医療分野を連携する「チーム医療」に関する研究

(10) 脳神経外科

- ①脳卒中診療のための Brain-Heart conference の有用性
- ②区政南部における脳卒中診療について
- ③急性期脳卒中患者の栄養管理とその予後の検討

(11) 整形外科

- ①膝関節外科における新しい治療法の研究
- ②大腿骨近位部骨折成績不良例の検討
- ③大腿骨頸部骨折に対する治療；各種人工骨頭置換術の成績比較
- ④MAKO robotic surgery TKA における問題点と解決法の検討
- ⑤骨粗鬆症リエゾンサービスの院内・院外・地域での確立
- ⑥FLS(骨折二次予防)のための早期治療介入を妨げる因子の検討
- ⑦自己血液を使用した再生医療(APS)の効果に関する検討
- ⑧当科における大腿骨近位部骨折術後合併症と患者生存率
- ⑨ステム周囲骨折の治療成績
- ⑩ロボティック TKA の患者満足度

(12) 皮膚科

- ①皮膚疾患における光線療法（ナローバンド UVB, エキシマライト）の有効な治療方法の確立と効果の検討
- ②アトピー性皮膚炎における生物製剤、JAK 阻害剤などの新しい治療薬の適切な使用の検討
- ③尋常性乾癬における生物製剤、免疫調整剤の適切な使用の検討
- ④薬疹における原因薬剤の同定と患者への服薬指導
- ⑤食物アレルギー、アナフィラキシーにおける原因物質の同定と生活指導、エピペン携帯指導。
最近問題となっているアクリル樹脂によるアレルギー性接触皮膚炎の解明（血糖自動測定器やジェルネイルなどにも使用）と生活指導（藤田医科大学との共同研究）

- ⑥BHD 症候群における皮膚症状の病理学的および疫学的研究、診断基準の確立（気胸センター、順天堂大学との共同研究）
- ⑦結節性硬化症の皮膚病変に対するラパリムスゲルの有効性の検討
- ⑧褥瘡における創傷被覆剤、持続陰圧吸引療法、外用剤の適切な使用の検討（褥瘡委員会との共同）及び特定行為研修ナースへの指導法の確立（褥瘡委員会との共同）
- ⑨ウイルス性発疹症、劇症型溶連菌感染症、Panton-Valentine 陽性の MRSA、疥癬の適切な診断と感染防御対策の確立（感染委員会との共同、Panton-Valentine 陽性の MRSA は東京薬科大学との共同研究）
- ⑩がん治療に使用する分子標的薬の皮膚障害に対する予防的治療の検討（外科、薬剤科との共同）
- ⑪人工関節置換術前の金属パッチテスト施行による金属アレルギーの予防（整形外科との共同）

(13) 産婦人科

- ①プロウペスによる分娩誘発の検討
- ②無痛分娩の導入および結果についての検討

(14) 眼科

- ①水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術におけるステント挿入困難症例の検討
- ②強度近視におけるスティックラー症候群等の遺伝子異常疾患の解明
- ③DREAM OCT を用いた近視眼構造解析
- ④白内障手術における新しい水晶体核分割鑷子の開発

(15) 麻酔科

- ①術直前に PCI を施行された患者さんに対する全身麻酔管理の安全性の検討
- ②高齢の手術患者における局所麻酔薬による神経ブロックの有効性の検討
- ③高齢の大腿骨頸部骨折患者の予後に影響する麻酔管理方法の検討
- ④高齢者大腿骨頸部骨折患者の手術待機期間と予後の関係の検討
- ⑤胸部外科手術と整形外科手術における側臥位手術体位と腕神経叢合併症の検討
- ⑥アラグリオによる血圧低下に対する有効な予防的対処と、関連リスクについての検討
- ⑦仙骨硬膜外造影剤を注入した際の造影剤の到達レベルと患者要因の関係について
- ⑧高周波治療による神経根ブロック時、その施行時間と治療効果の関係について
- ⑨うつ状態と疼痛改善の早さに関係性はあるか。K6 を用いた検討
- ⑩全身麻酔中の血中二酸化炭素濃度と BIS 値の関係

(16) 病理診断科

- ①細胞診の精度管理の向上
- ②細胞診の検体の適切な採取法の周知

(17) 歯科

術前口臭測定による人工股関節置換術患者の在院期間延長予測因子の検討

3. 医療技術部

(1) 薬剤科

医薬品適正使用・安全使用に関する調査・研究

(2) 臨床工学科

- ①当院スコープオペレータ業務の現状と課題 ～業務確立を目指して～
- ②当院手術室 CE のダビンチ導入プロジェクトへの関わり

- ③維持血液透析患者における透析後低カリウム血症の臨床的特徴
- ④臨床工学技士による VA の日常管理
- ⑤当院における腹膜透析業務における現状と課題
- ⑥CE における PM 業務の現状と課題
- ⑦ME 機器管理システム更新後の業務の変化について

(3) 臨床検査科

[採血室]

- ①受付番号で患者を呼ぶ取組
- ②外国人対応力の強化
- ③アルコールによる手指消毒の徹底

[一般検査]

- ①受付番号で患者を呼ぶ取り組みの周知
- ②体腔液検体の検査時間短縮

[血液検査]

- ①骨髓像の細胞数カウントまでの視野を広げる
- ②血液像の判読のより一層のレベルアップ

[生化学・免疫検査]

- ①内部精度管理・装置状態管理の向上
- ②免疫抑制・化学療法により発症する B 型肝炎のスクリーニング検査の周知・徹底

[輸血検査]

- ①輸血副作用発生時の対応の周知・徹底
- ②最新のガイドラインに沿った運用ができていないか見直し

[細菌検査]

- ①細胞診の精度管理の向上
- ②感染症（耐性菌）に関する医療スタッフへの教育、適切な検体採取および検体搬送の周知

[病理検査]

- ①細胞診の精度管理の向上
- ②細胞診の検体の適切な採取法の周知

[生理検査]

- 心電図、超音波検査のパニック値報告症例の検証

(4) リハビリテーション科

- ①術前サルコペニアを有する両 THA の術後転帰（または術後機能予後）
- ②重度運動麻痺脳卒中患者に対する亜急性期早期のベルト電極式骨格筋電気刺激法の痙縮に対する効果
- ③左半側空間無視（Attention）患者の体性感覚認知障害による SVV（自覚的視性垂直位）との関連性
- ④片側 THA 患者の筋硬結と疼痛の関係～SWE による定量評価～
- ⑤抗重力位での股関節外転筋力が片脚立位時の側方安定性と関連するか
- ⑥当院リハビリ介入中の気胸患者の傾向
- ⑦回復期病棟退院後の生活調査について

(5) 放射線科

- ①肢位調整装置による膝関節荷重位 PA 撮影（Lyon Schuss）法の再撮影率検証
- ②Angio 装置更新に伴い患者被ばく低減の検証と実施
- ③頭頂部血管造影 CT における最適時相の検討
- ④立位膝 AP 撮影における関節面を良好に撮影するための最適ポジションの検討

- (6) 栄養給食科
 - ①給食直営後の患者嗜好調結果の変遷
 - ②直営後の管理栄養士による診療報酬獲得状況の変化
 - ③栄養補助食品の有効活用度

4. 看護部

- (1) 多職種協働
 - ①高齢者医療・認知症ケア
 - ②ACP 普及活動
- (2) 災害対策
災害看護関連
- (3) 看護教育
 - ①看護管理者フロア連携
 - ②接遇関連
 - ③バイタル送信システムを用いた看護業務効率化
 - ④特定看護師の活動について
- (4) 地域連携
災害拠点病院の連携

II. 佐倉厚生園病院

- (1) 薬剤科
ポリファーマシーに対する症例研究
- (2) NST 委員会、医療技術部
GLIM 基準のカットオフ値についての検討
- (3) 看護部
食べられる口づくりを目指した口腔ケア評価ツール OHAT 導入に向けて
- (4) 医療技術部、看護部、リハビリテーション部
服薬管理に関する現状の意識調査と在宅復帰に向けた多職種共働による客観的服薬管理フローチャートの作成
- (5) リハビリテーション部
 - ①パーキンソン病における集学的治療
 - ②多職種チームによる包括的排尿ケア
 - ③脳卒中後の痙縮に対するバクロフェン持続髄注療法と集中リハビリテーションの併用療法の有用性の検討
 - ④脳深部刺激療法（DBS）継続中の進行パーキンソン病に対するリハビリテーションの有用性について
 - ⑤脳卒中回復期患者に対する上肢ロボット（筋電応答型手指運動アシストロボット）を用いたリハビリテーションの上肢機能改善に関する医師主導臨床研究－多施設共同パイロット試験－
 - ⑥回復期リハビリテーション病棟における超高齢大腿骨近位部骨折術後患者の栄養状態と ADL の関連
 - ⑦訪問リハビリステーション満足度調査
 - ⑧当院療養リハビリでの FIM を用いた予後予測の検討

III. 玉川クリニック

- ①高齢者骨粗しょう症に対する内科的介入促進にむけた研究
- ②EDTA 依存性血小板減少の頻度確認とその対策
- ③診療の質向上の指標抽出と経年的なフォロー
- ④推定食塩摂取量、尿中 Na/K の解析 塩分チェックシートの解析

- ⑤体組成の測定解析
- ⑥薬剤処方の改善にむけた研究
 - a) ポリファーマシー（6剤以上内服中の患者さん比率の低下にむけて）
 - b) 眠剤処方（ベンゾジアゼピン系薬剤の使用比率の低下にむけて）
 - c) 下剤処方（大腸刺激性薬剤の使用比率の低下にむけて）
 - d) ビタミンD（高Ca血症予防にむけて）
 - e) 疑義照会におけるPDCAサイクルについて
- ⑦シスタチンC測定の臨床的意義について
- ⑧睡眠時無呼吸症候群の当クリニック現状について
- ⑨かかりつけ医機能報告制度における当クリニックの現状について

IV. 診療所

- ①50歳以上、生活習慣病＋喫煙、生活習慣病＋ex-heavy smoker(20本/日～)に該当する健診受診者に対し prospective に超悪玉コレステロール値を測定し頸動脈エコーで動脈硬化性変化を追跡検討する。
- ②玉川病院外科と協力し超悪玉コレステロール Small Dense LDL Cholesterol (sd LDL-C)と動脈硬化リスク因子との関連性についてデータの収集と分析を行い学会発表を行う。
- ③生活習慣病の改善や食事・運動療法による体重減少のメタボ関連脂肪性肝障害(MAFLD/MASLD)の肝機能および腹部エコー像改善に関する有効性の検討
- ④中耳炎、内耳炎、副鼻腔炎における細菌検査と臨床データの関連性を探求する。